

研究に関するご協力をお願い

福島県立医科大学附属病院 放射線部では、本学倫理審査委員会の承認を得て、下記の研究を実施します。本学における診療情報の利用について、関係する皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

2023年 4月

福島県立医科大学附属病院 放射線部 長澤陽介

■ 研究課題名

子宮頸癌に対する中央遮蔽照射において腸管線量を低減させるための研究

■ 研究期間

2023年5月 ～ 2024年4月

■ 研究の目的・意義

子宮頸癌に対する放射線治療では、体の外側から放射線を照射する外部照射と、子宮腔内に器具を挿入して器具の内側から放射線を照射する腔内照射を組み合わせた治療が行われています。日本では外部照射を2つのステップで施行する治療戦略が標準的です。まず、骨盤全体を標的とした全骨盤照射から始まり、途中から骨盤部の中央部3cm程度の領域に放射線が当たらないように“完全に遮蔽”する中央遮蔽照射に切り替えられます。中央遮蔽照射の役割は、腔内照射で高い線量を照射される可能性が高い直腸や膀胱への線量を低減することであり、日本独自のユニークな治療戦略です。

本研究では、従来の中央遮蔽照射の治療効果を維持しつつ、直腸や膀胱だけでなく、小腸や大腸といった腸管全体の線量を可能な限り低減する新しい手法の開発を目的とします。

■ 研究対象となる方

2016年1月から2022年12月に本学附属病院で放射線治療を受けたI～II期の子宮頸癌患者さんが対象です。

■ 研究の方法

対象となる方の診療情報から、過去に本学附属病院で放射線治療のために撮影した CT 画像や年齢、病期、などの項目についてのデータを収集します。新たに患者さんにご負担をお掛けすることはありません。収集した CT 画像を基に、従来法および提案手法を用いた中央遮蔽照射の放射線治療計画を立案し、比較することで提案手法の有用性を評価します。

■ 研究組織

この研究の研究事務局は福島県立医科大学附属病院 放射線部であり、研究責任者は福島県立医科大学附属病院 放射線部 長澤陽介です。集められた情報の管理責任者は福島県立医科大学学長竹之下誠一であり、それらの情報は福島県立医科大学附属病院 放射線部で利用し解析を行います。

■ この研究に関する問い合わせについて

この研究に関して質問などございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象の方の個人情報や知的財産の保護などに支障がない範囲で、研究計画書や研究方法に関する資料が閲覧できます。

また、試料・情報がこの研究に利用されることについて、研究対象者ご本人または代理の方にご了承いただけない場合は、研究対象者とはせずに情報の利用や提供はいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人または代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果がすでに医療系雑誌への掲載や学会発表がなされている場合は、データを取り消すことは困難な場合もあります。

■ 情報の利用を望まれない場合等の連絡先

〒960-1295 福島県福島市光が丘1番地

公立大学法人福島県立医科大学附属病院 放射線部 担当：長澤陽介

電話：024-547-1594

e-mail：nagasuke@fmu.ac.jp